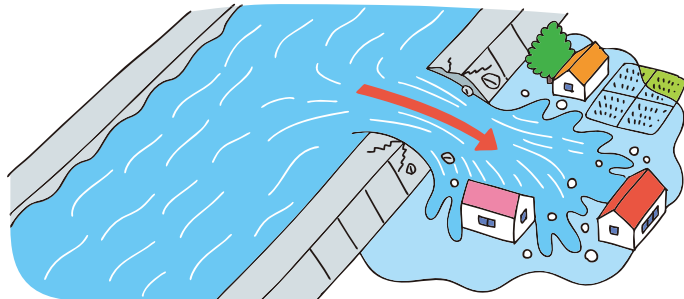


洪水

氾濫の種類

外水氾濫

河川の堤防から水が溢れ、または堤防が決壊して家屋や田畑が浸水すること。



内水氾濫

堤防から水が溢れなくても、河川へ排水する川や下水路の排水能力の不足などが原因で、降った雨を排水処理できなくて引き起こされる氾濫。



雨の降り方と強さ

1時間雨量	10~20mm	20~30mm	30~50mm	50~80mm	80mm以上	110mm以上
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨	記録的短時間大雨情報
人の受けるイメージ	ザーザーと降る	どしゃ降り	バケツをひっくり返したように降る	滝のように降る	息苦しくなるような圧迫感がある	数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨(気象台が発表)

※今いる場所で雨が降っていない場合でも、周辺や山間部で大雨が降っていたり、雷鳴が聞こえたりした場合は、急な河川の増水や局地的な大雨が降るおそれがあるため、気象情報をよく確認してください。

河川の基準水位

※洪水浸水想定区域内にお住まいの方は特に市からの情報に注意してください。

▼堤防を越える		今泉(今泉川)
▼氾濫危険水位	破堤や浸水により氾濫が起こる可能性のある水位	2.97m
▼避難判断水位	避難の目安となる水位	2.72m
▼氾濫注意水位	水防団が出動する目安となる水位	2.72m
▼水防団待機水位	水防団が準備する目安となる水位	2.08m



水位観測所(今泉川)

危機管理型水位計

洪水時の水位観測に特化した水位計で、河川の水位が上昇した時に自動的に作動し水位を観測します。

(平常時は1日1回のみ)

※「川の水位情報」から確認できます。

<https://k.river.go.jp>



危機管理水位計(合津川)

危険度分布を確認しましょう(洪水編)

洪水警報の危険度分布 <https://www.jma.go.jp/jp/suigaimesh/flood.html>



中小河川の洪水災害発生危険度の高まりを、5段階に色分けして示す情報です。避難にかかる時間等を考慮して、3時間先までの予測値を用いており(10分ごとに更新)、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。



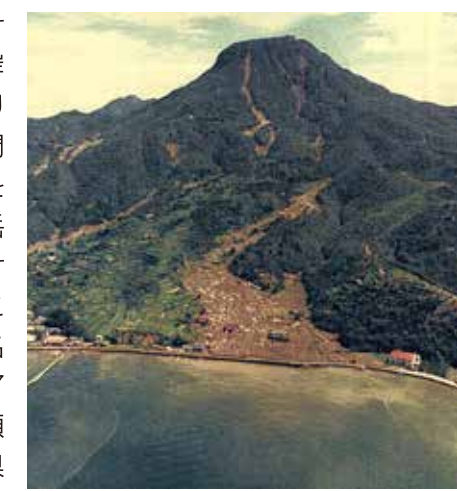
高
危
険
度
低

色が持つ意味	説明	避難情報の目安	相当する警戒レベル
極めて危険 すでに土砂災害警戒情報の基準に到達	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水災害発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水災害がすでに発生しているおそれが高い極めて危険な状況。	避難指示(緊急)	—
非常に危険 3時間先までに警戒基準を大きく超過した基準に到達すると予想	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生するおそれが高い。水位が一定の水位を越えている場合には速やかに避難を開始する。	避難勧告	4相当
警戒(警報級) 3時間先までに警戒基準に到達すると予想	水位が一定の水位を越えている場合には、避難の準備が整い次第、避難を開始する。高齢者は速やかに避難を開始する。	避難準備・高齢者等避難開始	3相当
注意(注意報級) 3時間先までに注意基準に到達すると予想	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

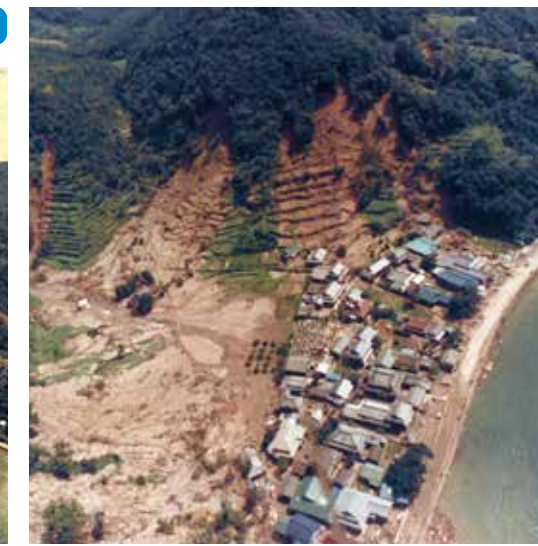
上天草市および周辺に起こった過去の災害(洪水)

昭和47年7月豪雨(天草大水害)

昭和47年7月3日から6日にかけて天草諸島・上島の八代海沿岸部を中心に局地的な大雨が降りました。龍ヶ岳町では、最大時間雨量130ミリ、総雨量526ミリを観測し、松島町、姫戸町、龍ヶ岳町、倉岳町(現天草市)などでがけ崩れや土石流が発生しました。この豪雨により、熊本県内で123名の死者・行方不明者を出し、577戸の建物が全壊するなど、被害額は480億円に及びました(熊本県地域防災計画より)。



災害発生後の状況(龍ヶ岳町 大道地区)



災害発生後の状況(龍ヶ岳町 高戸地区)

避難のポイント(洪水編)

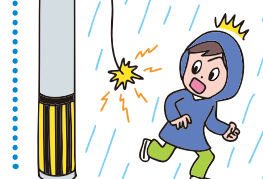
長靴は水が入って歩きにくく危険です。裸足やスリッパも禁物です。なるべく運動靴をはきましょう。



大雨時の田んぼの見回りはやめましょう。



垂れ下がった電線には近づいたり、触ったりしないようにしましょう。



足元が見えないことが多いので、よく通っている道でも道路の真ん中を杖でつきながら慎重に歩きましょう。



橋を渡らないようにしましょう。

